

令和6年度 学校評価に関するアンケート集計結果(保護者用)

福島県立聴覚支援学校

A:十分できている。 B:ほぼできている。 C:あまりできていない。 D:できていない。

[「A+Bが90%以上」、「C+Dが20%以上」に網掛けがしてあります。]

自立と社会参加に向けた指導の充実		A	B	C	D
1	学校は、教育的ニーズや合理的配慮を基に、目標について保護者やお子さんと共通理解を図り、個に応じて自立や社会参加に向けた学習指導を行っている。	51%	46%	3%	0%
2	学校は、中学部・高等部の学科や学習内容、また、高等部卒業後の進路に関する情報を提供し、お子さんの実態に応じて、将来の進路や職業について指導している。	47%	50%	3%	0%
3	学校は、交流及び共同学習を実施している。今年度、幼稚部ではひまわり保育園との交流会、小学部では大槻小学校との交流及び共同学習(クラブ活動)、中学部では片平中学校との交流会や中体連新人戦への参加、高等部では郡山高等学校との交流や部活動の大会等の参加による交流活動を行っている。	59%	41%	0%	0%
4	寄宿舎は、自立に向けた生活習慣を身に付けるため、担任や家庭と連携し、お子さんの実態に応じた生活指導を行っている。(中学部:基本的生活スキルの獲得 高等部:自立と社会参加に向けた指導)【寄宿舎生のみ】	36%	57%	7%	0%
主体的に思考する力と豊かな心の育成					
5	学校は、子ども一人一人の言語力を高め、子どもが主体的に思考し、自ら学ぶ力を育むための授業を行っている。	49%	49%	3%	0%
6	学校は、「図書だより」を通して推薦図書を紹介したり、新刊図書や授業と関連のある図書を閲覧できるように校内モニターで紹介したり、図書館や図書コーナーの環境を整えたりするなどして、読書活動を推進している。	39%	58%	3%	0%
7	学校は、奉仕体験やボランティア活動、係活動に積極的に取り組み、子ども達の豊かな心を育てている。(幼小小学部では自分でできることから学級や学部のための係活動や児童会活動、中高等部では生徒会活動やボランティア活動を設定している。)	46%	51%	3%	0%
8	学校は、心身の健やかな成長と健康の保持や望ましい食生活について指導を行っている。また、感染症予防のための指導をはじめとした、安心安全な環境づくりに取り組んでいる。	49%	49%	3%	0%
一人一人の実態を踏まえた言語力の育成					
9	学校は、一人一人の障がいの実態に合わせたコミュニケーション手段を用いた教育活動を行っている。また、手話や聴覚活用・読書の専門性を高められるよう研修に努めている。	51%	49%	0%	0%
10	学校はICT機器を活用するなどして、情報保障を充実させ、自立活動の指導と各教科等の指導を積的に関連させ、授業の充実を図っている。	47%	47%	0%	0%
安全で安心な学校づくり					
11	学校は、社会のルールやマナーを守り、自ら考えて行動する力を育てるための指導をしている。	46%	51%	0%	0%
12	お子さんは、楽しく学校に通っている。	59%	36%	3%	3%
13	避難訓練や放射線教育など防災教育や交通安全教室を行い、安全安心な学校生活が確保されている。	58%	37%	3%	0%
14	寄宿舎は、保健指導や避難訓練を行い、生徒が安全安心の生活ができるよう努めている。【寄宿舎生のみ】	50%	50%	0%	0%
センター的機能の充実					
15	学校は、出かける支援や乳幼児早期教育相談等、専門性を活かした支援を行っている。	46%	46%	3%	0%
16	学校は、教員対象の研修会や、保護者対象の学習会を開催し、聴覚障がい理解や支援のための情報を地域に提供している。	51%	46%	0%	0%
17	学校は、ホームページ等で学校の取り組み状況を知らせている	46%	49%	3%	0%

<学校評価アンケートの結果及びご意見より>

・寄宿舎の入舎条件の緩和。

→ 寄宿舎は、「規律ある生活習慣を身につけること」「コミュニケーション力を身につけること」「自主性・協調性を身につけること」を目標に指導しています。入舎に際しては、お子さんの身辺自立の状況や学校での生活の様子及びご家庭の状況等について十分に考慮しながら、お子さんの発達段階に応じて検討を進めていきます。

・遠方に住んでいる人などの為にスクールバスといった送迎方法も検討してほしい。

→ 通学におけるスクールバスの運行に関しては、職員の勤務体制や業務内容、人員数など様々な面を考慮すると現時点では難しい状況です。お子さんの発達の段階に応じて、公共交通機関を利用した自力通学の実現に向けて、家庭と連携しながら進めていきます。

・寄宿舎・聞いていることに対して返事が曖昧すぎて不安になることがある。

→ 保護者や舎生との面談において願いや考えを丁寧に聞き、ニーズに合わせた寄宿舎運営を行うことで、心身ともに安全安心な生活を送ることができるように支援していきます。内容によっては、関係職員で共有及び協議の上、返答させていただくことがあることをご理解ください。

・アンケートは無記名で行った方がよいと思う。

→ 一昨年度までのように記名でも無記名でも良い形にします。

・寄宿舎について役割もあると思うが家庭的であってほしい。

→ 指導員は、舎生との日頃の関わりの中で話しやすい雰囲気作りを心がけることで、舎生の気持ちに寄り添い支援していきながら、ご家庭と連携しながら指導を進めていきます。

福島県立聴覚支援学校(小学部)

A:十分^{じゅうぶん}できている。 B:ほぼできている。 C:あまりできていない。 D:できていない。

[「A+Bが90%以上」,「C+Dが20%以上」に網掛けがしてあります。]

番号	評価項目	A	B	C	D
1	勉強していることが、「わかった」または「おもしろい」と思える。	73%	27%	0%	0%
2	仕事や将来のことを話したり、家の手伝いをしたりしている。	64%	18%	18%	0%
3	他の小学校と交流をしている。(クラブ、大槻小、小野小、居住地校、小体連など)	64%	27%	9%	0%
4	図書館や図書コーナーを利用し、本などを読んでいる。	45%	27%	27%	0%
5	学級の係の仕事や児童会(集会やお楽しみ会、ごみ拾い、ポスター作りなど)の活動をしている。	82%	9%	0%	9%
6	給食を味わって食べたり、普段から手洗いうがいをしてけがや病気に気を付けたりしている。	82%	18%	0%	0%
7	音声や文字、手話、指文字等を使いながら言葉を覚えて、言葉で考えたり伝えたりしている。	64%	36%	0%	0%
8	補聴器や人工内耳の電池や聞こえの確認をしたり、声や手話等を使って話したりしている。	73%	27%	0%	0%
9	先生や友達、学校に来た人に自分から元気にあいさつしている。	64%	36%	0%	0%
10	学校は勉強や生活がしやすい。	64%	36%	0%	0%
11	タブレットやインターネットを使う時は、先生と一緒に約束を守って使っている。	82%	18%	0%	0%
12	事故やけがに気を付けている。	73%	27%	0%	0%

<学校評価の集計結果から>

・じりつかつどうみたいに、もっとほかのくらすのひとといっしょに、かつどうしたい。

→ 体育や音楽、図工、児童会など他のクラスの友達と学習する時間があります。休み時間や給食、掃除の時間なども友達と一緒に楽しく過ごしましょう。

・仕事体験をしてみたいです。

→ 中学部や高等部になると実際に会社などで仕事を体験します。小学部のうちに、係の仕事や家の手伝いを進んで行い、責任をもって最後まで取り組む力を育てましょう。

・ずこうがたのしいです。

→ 楽しんで学習することはとても大切です。他の学習もみんなが楽しめるように先生もがんばります。

・土曜日や日曜日、夏休みや冬休みは、図書館や図書コーナーで本を借りて読みましょう。おもしろい本が見つかったら、友達や先生に教えてください。

福島県立聴覚支援学校(中学部)

A:十分できている。B:ほぼできている。C:あまりできていない。D:できていない。

[「A+Bが90%以上」、「C+Dが20%以上」に網掛けがしてあります。]

番号	評 価 項 目	A	B	C	D
1	授業では、「わかった」または「おもしろい」と思える。	18%	73%	9%	0%
2	中学部卒業後の進路について考えたり、調べたりしている。	18%	64%	18%	0%
3	他校と勉強や運動をする機会がある。(交流会、部活動の大会参加など)	36%	55%	9%	0%
4	図書館や図書コーナーを利用して、本などを読んでいる。	36%	45%	9%	9%
5	生徒会の活動(委員会、行事、役員会等)に、最後まで責任をもって取り組んでいる。	82%	18%	0%	0%
6	健康診断や学校給食等を通して、自分の心身の健康について考えながら生活している。	36%	45%	18%	0%
7	多様なコミュニケーション手段(音声、文字、手話、指文字など)を活用して思考したり伝えたりしている。	73%	27%	0%	0%
8	学校では、自分に合ったコミュニケーション手段や情報を得る方法を考え、友達とお互いに分かり合える方法でコミュニケーションを取っている。	64%	36%	0%	0%
9	先生や友達、来校者に自分から元気にあいさつをしている。	36%	64%	0%	0%
10	学校は勉強や生活などがしやすい環境が整っている。	55%	45%	0%	0%
11	安全に気を付け学校生活を送っている。	73%	27%	0%	0%
12	寄宿舎では安心して生活している。【寄宿舎生のみ】	60%	40%	0%	0%
13	情報 モラルの重要性や危険性を理解し、安全に情報機器の活用を行っている。	82%	18%	0%	0%

〈学校評価の集計結果から〉

- ・アンケートから、「友達とたくさん話をしたり、協力したい」という記述がありました。話しやすい環境を整えていきます。
- ・「みんなの意見を言える箱を作る」「行事を増やしてほしい」という意見がありました。生徒会役員に伝え、みんなの意見を集められるようにしていきます。
- ・昨年と比べ、図書館利用や本を読んでいる人が増えています。よい習慣なので続けていきたいと思います。

福島県立聴覚支援学校(高等部)

A: ^{じゅうぶん}十分できている。B: ほぼできている。C: あまりできていない。D: できていない。

[「A+Bが90%以上」、「C+Dが20%以上」に網掛けがしてあります。]

番号	評 価 項 目	A	B	C	D
1	授業では、「わかった」または「おもしろい」と思える。	42%	58%	0%	0%
2	進路実現に向けて目標をもち、それに向けて努力している。	50%	42%	8%	0%
3	他校と勉強や運動をする機会がある。(交流会、部活動の大会参加など)	25%	58%	17%	0%
4	図書館や図書コーナーを利用して、本などを読んでいる。	8%	42%	33%	17%
5	生徒会の活動(委員会、行事、役員会等)に、最後まで責任をもって取り組んでいる。	58%	42%	0%	0%
6	健康診断や学校給食等を通して、自分の心身の健康について考えながら生活している。	50%	50%	0%	0%
7	多様なコミュニケーション手段(音声、文字、手話、指文字など)を活用して思考したり伝えたりしている。	58%	42%	0%	0%
8	学校では、自分に合ったコミュニケーション手段や情報を得る方法を考え、友達とお互いに分かり合える方法でコミュニケーションを取っている。	67%	33%	0%	0%
9	先生や友達、来校者に自分から元気にあいさつをしている。	25%	67%	8%	0%
10	学校は勉強や生活などがしやすい環境が整っている。	42%	58%	0%	0%
11	情報モラルの重要性や危険性を理解し、安全に情報機器の活用を行っている。	67%	33%	0%	0%
12	安全に気をつけ学校生活を送っている。	83%	17%	0%	0%
13	寄宿舎では安心して生活をしている。【寄宿舎生のみ】	50%	50%	0%	0%

<学校評価の集計結果から>

記述の意見はありませんでしたが、多くの項目において、みなさんが意識しながら学校生活を過ごしている様子がうかがえました。1つ1つの意識的な行動の積み重ねがみなさんの夢の実現につながっていきますので、今後も続けましょう。

図書館や図書コーナーを利用して本を読む割合が50%となっています。日々の学習や進路にかかわる準備等で忙しい状況ではありますが、どのような工夫をすれば読書の時間を確保できるのか、解決方法を話題にしていきたいと思います。また、図書に限らず、新聞や活字のニュース等にも触れ、社会問題に関心をもって過ごしましょう。